

清流大川

羽地中学校
学校だより 153 号
せいりゅうおおかわ
H31. 1. 7

覚悟を決める

三学期



冬休みに英語1年から3年までの復習・寺子屋大門教室



新年あけましておめでとうございませう。本年もよろしくお願ひします。

新しい年を迎えて羽地中は7日(月)、三学期始業式を行い、年度末の三学期を迎えました。

三学期は、どの学年にとっても、これまでの学習や生活を振り返り、成長・貢献・感謝がどれだけ達成できたかを自己評価して、新しい目標を決めていく学期です。

一・二年生は、次の学年に進級する準備を始める学期でもあります。ところが、中学校に慣れてくると、どうしてもマンネリ化して楽な方へ進みがちです。同じことの繰り返し、つまらない授業、分らない勉強、レギュラーになれない部活動、友達との亀裂、怒りと諦めの日々。これらの慣れから脱却するために、「覚悟」が必要です。

三年生にとっては、義務教育最後の学期。進路を決定する大事な学期です。三年生にとっては、最も覚悟が必要な学期です。

人の生き方には、必ずいくつかの決断があります。自分で決断しな

ければならない時には、「覚悟」が必要で。

覚悟とは、「困難を予想して、それを受け止める心構えをすること。迷いを脱し、真理を悟ること。覚悟すること、記憶すること。」と大辞泉にあります。

覚悟は、他人に決めてもらうのではなく、自分で決めるものです。自分の進みたい道を親や先生に説明できるぐらい、自分の決めたことに覚悟することです。

人生は選択の連続です。目の前に立ちはだかる不安や困難から逃げて覚悟を持ってない選択ばかりしていると、自分の思い描く未来に近づいていくことができません。

こうなりたいと思う未来を具体的に思い描いているなら、不安や困難に打ち勝つ覚悟を決めましょう。

そして、困難を克服できれば、自分に新たな可能性があることを知っていくことでしょうか。

では、どうしたら覚悟が持てるか。まず第一に、覚悟は自分で持つことです。第二に覚悟を持つ時は行動も決めます。なぜなら、覚悟を決めるときは、夢を追う時や大きな決断をする時、新しいことを始めた時、今までやってきたことを辞めた時、今までやってきたことを辞めた時、今までの時、つまり、行動を起こす時です。口先だけではだめなんだと言うことを知ってください。行動するためには、情報を集めて選択して、行動を決める。行動が決まると覚悟も決まります。そして、自分を信じて行動する。

思い描いたことを文字に表して、いつも見て覚悟をより強く持つ。

皆さんは今年、どのような覚悟を決めて行動しますか？

自分の苦手なところが分かりました。補習では、直接、先生に教えてもらえるからわかりやすいです。このような補習があれば、参加した方が良いでしょう。

(Mさん)

今まで英語を勉強してきて、自分が苦手なところと得意なところが分かりましたし、苦手なところを克服して得意になったことが嬉しい。予習復習とか、今のうちにやって自分を伸ばした方が良いでしょう。

(Aさん)

自分が苦手なところが分かりました。寺子屋大門に参加した理由は、入試の英語で満点に近い得点を取りたいからです。後輩に言いたいことは、とりあえず、三年になってから入試の勉強はしない方がいいです。(笑)それより、ちょっとずつやった方がいい。普段の勉強プラス入試の勉強もやっていただいた方がいいと思うことです。

(Rさん)

寺子屋大門に参加して



自分の苦手なところが分かりました。補習では、直接、先生に教えてもらえるからわかりやすいです。このような補習があれば、参加した方が良いでしょう。

(Mさん)

今まで英語を勉強してきて、自分が苦手なところと得意なところが分かりましたし、苦手なところを克服して得意になったことが嬉しい。予習復習とか、今のうちにやって自分を伸ばした方が良いでしょう。

(Aさん)

自分が苦手なところが分かりました。寺子屋大門に参加した理由は、入試の英語で満点に近い得点を取りたいからです。後輩に言いたいことは、とりあえず、三年になってから入試の勉強はしない方がいいです。(笑)それより、ちょっとずつやった方がいい。普段の勉強プラス入試の勉強もやっていただいた方がいいと思うことです。

(Rさん)